



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社 F U J I 上場取引所 東 名
コード番号 6134 URL <https://www.fuji.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 五十棲 丈二
問合せ先責任者 （役職名） 取締役専務執行役員コーポレート本部本部長 （氏名） 加納 淳一 TEL 0566-81-2111
定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期	180,642	41.8	29,282	112.5	31,291	104.1	15,733	44.3
2025年3月期	127,387	0.3	13,781	2.7	15,328	2.1	10,906	4.5

（注）包括利益 2026年3月期 22,639百万円（249.6％） 2025年3月期 6,476百万円（△67.9％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2026年3月期	178.79	—	7.0	12.0	16.2
2025年3月期	119.64	—	4.9	6.2	10.8

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期	278,356	232,454	83.5	2,642.59
2025年3月期	244,289	218,682	89.5	2,461.37

（参考）自己資本 2026年3月期 232,317百万円 2025年3月期 218,561百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	9,181	△6,971	△9,038	53,159
2025年3月期	23,413	△11,418	△16,195	58,005

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当 率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2025年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00	7,216	66.9	3.2
2026年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00	7,928	50.3	3.5
2027年3月期（予想）	—	95.00	—	95.00	190.00		50.6	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	112,000	40.8	24,900	159.6	25,300	147.3	19,400	115.8	220.67
通期	211,000	16.8	43,600	48.9	44,300	41.6	33,000	109.7	375.37

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	97,823,748株	2025年3月期	97,823,748株
2026年3月期	9,910,679株	2025年3月期	9,026,846株
2026年3月期	87,997,810株	2025年3月期	91,158,931株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	149,641	57.2	26,222	179.7	34,605	236.7	28,903	245.2
2025年3月期	95,174	3.5	9,374	11.5	10,276	1.5	8,373	15.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	328.46	—
2025年3月期	91.86	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	228,275	193,007	84.6	2,195.44
2025年3月期	189,534	171,246	90.4	1,928.52

(参考) 自己資本 2026年3月期 193,007百万円 2025年3月期 171,246百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、2026年5月14日に当社ウェブサイトに掲載いたします。また、当社は、2026年5月15日に決算説明会を開催する予定であり、その内容（トランスクリプト）については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	14
(重要な後発事象の注記)	14
4. その他	15
(1) 受注及び販売の状況	15
(2) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、中東情勢の緊迫化を受けた原油高への懸念から景気が一部で足踏みしたものの、アジア向けの輸出の持ち直しを背景に緩やかに回復しました。また、企業の設備投資はソフトウェア投資を中心に堅調に推移しました。世界経済は、欧州では輸出で弱い動きがみられたものの内需主導で景気が持ち直し、北米および中国では旺盛なA I 需要を背景にソフトウェアなどの知的財産投資が底堅く推移しました。しかし、中東情勢の緊迫化に伴う地政学リスクの高まりなどによる世界経済への影響は不透明な状態が続いております。

このような環境のなかで、主力事業であるロボットソリューション事業では、手掛ける全ての製品においてシェアNo.1を目指すべく、モジュール型電子部品装着機「N X T R」や拡張型オールインワン装着機「A I M E X R」といった最新機種を拡販の軸に据え、新規市場・顧客の開拓に取り組んでまいりました。特に「N X T R」においては、自動化と高密度実装に加え、性能向上および機能拡張が奏功し、これらの優位性が評価された結果、従来の主力機種である「N X T Ⅲ」からの切り替えが完了しました。「N X T R」の需要拡大に対応すべく、2024年9月に完成した岡崎工場の新工場棟を整備し、生産体制強化にも努めてまいりました。さらに、スマートロッカーシステム「Q u i s t」や移乗サポートロボット「H u g」、廃棄物選別ロボット「R - P L U S」をはじめとする電子部品実装ロボット以外の製品の事業化を推進し、次世代の柱となる事業の創出を図ってまいりました。マシンツール事業では、持続的な収益成長のサイクルを生み出すために、生産効率や提案営業力の向上に努めることでターンキービジネスにおける優位性の確立を図り、新規顧客の開拓に取り組んでまいりました。また、多様化する生産形態や部品加工のニーズに対応する複合加工旋盤の新機種「A C U F L E X」の製品競争力向上も推し進めてまいりました。そのほか、全社を挙げて、デジタル技術の活用による生産・販売・開発の業務効率化を推進して収益性の向上を図るとともに、サステナビリティ推進に関する専門部署を設置するなど企業として持続可能な成長を実現していくための取り組みも加速させてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は180,642百万円となり、前連結会計年度と比べて53,255百万円(41.8%)増加しました。営業利益は29,282百万円と、前連結会計年度に比べて15,501百万円(112.5%)増加し、経常利益は31,291百万円と、前連結会計年度に比べて15,962百万円(104.1%)増加しました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度と比べて4,826百万円(44.3%)増加し、15,733百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ロボットソリューション

タイ、インドを中心としたアジア地域において、A I サーバー関連の設備需要が高水準で推移したことに加え、ダイボンドを含む半導体関連の設備需要も伸長しました。この結果、売上高は168,737百万円となり、前連結会計年度と比べて54,580百万円(47.8%)増加し、営業利益は33,623百万円となり、前連結会計年度と比べて17,273百万円(105.7%)増加しました。

マシンツール

自動車関連の設備需要が低調に推移し、特に北米市場において販売数量が大きく減少しました。この結果、売上高は9,705百万円となり、前連結会計年度と比べて1,388百万円(12.5%)減少し、営業損益は107百万円の損失(前期:営業利益740百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は195,507百万円となり、前連結会計年度末から40,079百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が30,543百万円、棚卸資産が10,914百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は82,849百万円となり、前連結会計年度末と比べ6,012百万円減少しました。これは主に、子会社であるファスフォードテクノロジー株式会社に係るのれんに対する減損損失計上などにより、のれんが8,087百万円減少した一方、退職給付に係る資産が2,048百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、278,356百万円となり、前連結会計年度末から34,067百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は43,382百万円となり、前連結会計年度末から21,126百万円増加しました。これは主に、未払法人税等が7,440百万円、支払手形及び買掛金が6,977百万円、前受金及び預り金（いずれも流動負債のその他に含みます）が5,482百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は2,519百万円となり、前連結会計年度末と比べ831百万円減少しました。これは主に繰延税金負債が1,052百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、45,902百万円となり、前連結会計年度末から20,295百万円増加しました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は232,454百万円となり、前連結会計年度末から13,772百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益により利益剰余金が15,733百万円、為替市場における円安の進行により為替換算調整勘定が4,187百万円それぞれ増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が7,075百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は83.5%（前連結会計年度末は89.5%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ4,846百万円減少し53,159百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは9,181百万円の収入（前期：23,413百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益24,641百万円、減損損失9,717百万円、減価償却費9,508百万円や仕入債務の増加額5,962百万円などのプラス要因が、売上債権の増加額29,127百万円や棚卸資産の増加額9,532百万円などのマイナス要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、6,971百万円の支出（前期：11,418百万円の支出）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出11,612百万円などが、投資有価証券の売却による収入4,937百万円などを上回ったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、9,038百万円の支出（前期：16,195百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額7,085百万円や自己株式の取得による支出2,374百万円などによるものであります。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは次のとおりであります。

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	85.8	88.5	90.9	89.5	83.5
時価ベースの自己資本比率(%)	88.1	84.8	98.5	76.1	147.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	3,856.6	2,026.0	1,016.8	1,164.9	431.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、中東情勢をはじめとする地政学リスクの長期化や、為替動向の変動などにより、世界経済の先行きは引き続き不透明な状況が続くものと見込まれます。そのような状況の中、当社主力製品である電子部品実装ロボットを手掛けるロボットソリューション事業におきましては、A I 関連やデータセンター需要の増加、さらには自動車の電動化・高度化の進展など、成長分野のニーズを的確に捉えた製品開発および提案力の強化を図り、積極的な営業活動を推し進めてまいります。

一方、マシンツール事業におきましては、市場環境の本格回復にはなお時間を要すると見込まれるものの、当社の強みであるターンキーソリューションビジネスを一層強化し、収益基盤の安定化と改善に努めてまいります。

次期の連結業績予想につきましては、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
第2四半期連結累計期間	112,000	24,900	25,300	19,400
通期	211,000	43,600	44,300	33,000

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分に関する基本方針といたしましては、将来の事業展開に伴う資金需要に配慮しつつ、株主の皆様への継続的な利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、配当性向50%を基本とするよう努めてまいります。

内部留保金は、次世代製品の開発や生産体制の構築等、さらなる成長・拡大のための積極的な投資に役立てるとともに、事業体質の改善・強化に充当する所存であります。

当期の期末配当金につきましては、利益配分に関する基本方針を踏まえ、1株につき50円にいたしたいと存じます。これにより、中間配当金40円を含めました当期の年間配当金は、1株につき90円を予定しております。

次期の配当金につきましては、次期の業績見通しおよび上記基本方針を考慮し、中間配当金、期末配当金を各々1株につき95円とし、年間では190円とさせていただく予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、将来の国際会計基準（I F R S）の適用につきましては、我が国における制度適用の状況を踏まえながら検討を進めていく考えであります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,580	53,741
受取手形及び売掛金	34,798	65,341
有価証券	1,600	1,181
商品及び製品	12,883	19,795
仕掛品	28,136	30,294
原材料及び貯蔵品	12,171	14,014
その他	8,375	11,283
貸倒引当金	△118	△147
流動資産合計	155,427	195,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,842	45,957
減価償却累計額及び減損損失累計額	△22,128	△23,916
建物及び構築物（純額）	23,714	22,040
機械装置及び運搬具	25,519	25,629
減価償却累計額及び減損損失累計額	△18,758	△19,166
機械装置及び運搬具（純額）	6,760	6,463
工具、器具及び備品	12,255	12,562
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,551	△10,784
工具、器具及び備品（純額）	1,703	1,777
土地	5,756	6,394
建設仮勘定	151	1,034
有形固定資産合計	38,086	37,711
無形固定資産		
のれん	8,087	—
ソフトウェア	11,686	13,722
その他	2,976	107
無形固定資産合計	22,749	13,830
投資その他の資産		
投資有価証券	20,962	21,871
繰延税金資産	1,257	1,645
退職給付に係る資産	5,028	7,077
その他	777	713
投資その他の資産合計	28,025	31,308
固定資産合計	88,862	82,849
資産合計	244,289	278,356

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,842	14,820
未払法人税等	2,967	10,407
製品保証引当金	640	855
その他	10,805	17,300
流動負債合計	22,256	43,382
固定負債		
繰延税金負債	2,731	1,679
退職給付に係る負債	422	464
株式給付引当金	—	256
その他	196	119
固定負債合計	3,350	2,519
負債合計	25,606	45,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	7,114	7,252
利益剰余金	204,870	213,527
自己株式	△19,738	△21,653
株主資本合計	198,125	205,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,370	10,079
繰延ヘッジ損益	3	△7
為替換算調整勘定	11,788	15,976
退職給付に係る調整累計額	272	1,263
その他の包括利益累計額合計	20,435	27,311
非支配株主持分	120	136
純資産合計	218,682	232,454
負債純資産合計	244,289	278,356

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	127,387	180,642
売上原価	80,750	114,367
売上総利益	46,636	66,275
販売費及び一般管理費	32,855	36,993
営業利益	13,781	29,282
営業外収益		
受取利息	696	719
受取配当金	535	511
受取賃貸料	29	27
為替差益	76	427
投資事業組合運用益	139	217
雑収入	143	152
営業外収益合計	1,621	2,056
営業外費用		
支払利息	20	21
支払手数料	10	12
損害賠償金	8	6
雑支出	34	7
営業外費用合計	73	47
経常利益	15,328	31,291
特別利益		
固定資産処分益	31	17
投資有価証券売却益	2,079	3,227
助成金収入	120	65
特別利益合計	2,230	3,310
特別損失		
固定資産処分損	127	243
減損損失	854	9,717
その他	304	—
特別損失合計	1,287	9,960
税金等調整前当期純利益	16,271	24,641
法人税、住民税及び事業税	4,956	11,584
法人税等調整額	394	△2,699
法人税等合計	5,351	8,885
当期純利益	10,920	15,756
非支配株主に帰属する当期純利益	14	22
親会社株主に帰属する当期純利益	10,906	15,733

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	10,920	15,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,388	1,708
繰延ヘッジ損益	5	△10
為替換算調整勘定	△254	4,195
退職給付に係る調整額	△806	990
その他の包括利益合計	△4,444	6,883
包括利益	6,476	22,639
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,470	22,609
非支配株主に係る包括利益	5	30

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,878	7,109	201,332	△11,029	203,291
当期変動額					
剰余金の配当			△7,368		△7,368
親会社株主に帰属する当期純利益			10,906		10,906
自己株式の取得				△8,736	△8,736
自己株式の処分		5		27	32
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	5	3,538	△8,708	△5,165
当期末残高	5,878	7,114	204,870	△19,738	198,125

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	11,759	△1	12,035	1,079	24,871	114	228,278
当期変動額							
剰余金の配当							△7,368
親会社株主に帰属する当期純利益							10,906
自己株式の取得							△8,736
自己株式の処分							32
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,388	5	△246	△806	△4,436	5	△4,430
当期変動額合計	△3,388	5	△246	△806	△4,436	5	△9,595
当期末残高	8,370	3	11,788	272	20,435	120	218,682

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,878	7,114	204,870	△19,738	198,125
当期変動額					
剰余金の配当			△7,075		△7,075
親会社株主に帰属する当期純利益			15,733		15,733
自己株式の取得				△2,374	△2,374
自己株式の処分		137		459	596
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	137	8,657	△1,915	6,879
当期末残高	5,878	7,252	213,527	△21,653	205,005

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,370	3	11,788	272	20,435	120	218,682
当期変動額							
剰余金の配当							△7,075
親会社株主に帰属する当期純利益							15,733
自己株式の取得							△2,374
自己株式の処分							596
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,708	△10	4,187	990	6,876	15	6,892
当期変動額合計	1,708	△10	4,187	990	6,876	15	13,772
当期末残高	10,079	△7	15,976	1,263	27,311	136	232,454

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	16,271	24,641
減価償却費	9,073	9,508
減損損失	854	9,717
のれん償却額	1,218	951
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	9	205
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	256
退職給付に係る資産負債の増減額	△1,638	△565
受取利息及び受取配当金	△1,231	△1,230
支払利息	20	21
固定資産処分損益 (△は益)	96	225
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,079	△3,227
投資事業組合運用損益 (△は益)	△139	△217
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,506	△29,127
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,905	△9,532
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,688	5,962
その他	△1,754	5,035
小計	23,789	12,624
利息及び配当金の受取額	1,233	1,233
利息の支払額	△20	△21
法人税等の支払額	△1,588	△4,654
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,413	9,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	2,100	1,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△14,525	△11,612
有形及び無形固定資産の売却による収入	40	39
投資有価証券の取得による支出	△1,953	△171
投資有価証券の売却による収入	3,210	4,937
定期預金の預入による支出	△94	△1,088
定期預金の払戻による収入	—	40
長期前払費用の取得による支出	△182	△106
その他	△13	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,418	△6,971
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△7,352	△7,085
自己株式の取得による支出	△8,736	△2,374
自己株式の売却による収入	—	531
その他	△107	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,195	△9,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△260	1,982
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,461	△4,846
現金及び現金同等物の期首残高	62,466	58,005
現金及び現金同等物の期末残高	58,005	53,159

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更に関する注記)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「寄付金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「雑支出」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「寄付金」に表示していた30百万円は、「雑支出」として組み替えております。

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「特別損失」の「投資有価証券評価損」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「特別損失」の「投資有価証券評価損」に表示していた304百万円は、「その他」として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「投資有価証券評価損益」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「投資有価証券評価損益」に表示していた304百万円は、「その他」として組み替えております。

(セグメント情報等の注記)

1 報告セグメントの概要

当グループの報告セグメントは、当グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当グループは、当社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当グループは事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、ロボットソリューション事業及びマシンツール事業の2つを報告セグメントとしております。

ロボットソリューション事業は、主に電子部品実装ロボットを生産しております。マシンツール事業は、主に工作機械を生産しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は連結財務諸表作成のための会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	114,157	11,093	125,251	2,136	127,387
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57	—	57	156	213
計	114,214	11,093	125,308	2,293	127,601
セグメント利益又は損失(△)	16,349	740	17,089	△109	16,979
セグメント資産	168,006	18,693	186,699	2,414	189,113
その他の項目					
減価償却費	8,337	535	8,872	87	8,960
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	13,839	411	14,250	65	14,316

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	168,737	9,705	178,442	2,199	180,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	80	—	80	313	394
計	168,818	9,705	178,523	2,513	181,037
セグメント利益又は損失(△)	33,623	△107	33,515	85	33,601
セグメント資産	200,872	15,721	216,594	2,481	219,075
その他の項目					
減価償却費	8,825	463	9,289	74	9,364
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	9,940	299	10,240	72	10,312

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	17,089	33,515
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△109	85
セグメント間取引消去	9	9
全社費用（注）	△3,208	△4,328
連結財務諸表の営業利益	13,781	29,282

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	186,699	216,594
「その他」の区分の資産	2,414	2,481
セグメント間取引消去	△30	△84
全社資産（注）	55,205	59,365
連結財務諸表の資産合計	244,289	278,356

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金預金）、長期投資資金（投資有価証券）、技術研究及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額（注）		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	8,872	9,289	87	74	113	144	9,073	9,508
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	14,250	10,240	65	72	485	1,265	14,801	11,577

(注) 調整額は技術研究及び管理部門に係るものであります。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	2,461.37円	2,642.59円
1株当たり当期純利益	119.64円	178.79円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	10,906	15,733
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益（百万円）	10,906	15,733
期中平均株式数（株）	91,158,931	87,997,810

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 受注及び販売の状況

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	112,868	91.1	114,157	89.6	33,246	86.7
マシンツール	8,900	7.2	11,093	8.7	4,825	12.6
報告セグメント	121,768	98.3	125,251	98.3	38,072	99.3
その他	2,120	1.7	2,136	1.7	273	0.7
合計	123,888	100.0	127,387	100.0	38,346	100.0

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	197,151	95.0	168,737	93.4	61,660	94.7
マシンツール	8,023	3.9	9,705	5.4	3,143	4.8
報告セグメント	205,174	98.9	178,442	98.8	64,804	99.5
その他	2,255	1.1	2,199	1.2	329	0.5
合計	207,429	100.0	180,642	100.0	65,133	100.0

(2) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

セグメントの名称	日本	中国	タイ	他アジア	北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	8,168	38,366	2,428	30,637	16,679	14,718	3,158	114,157
マシンツール	3,170	610	140	411	5,958	785	16	11,093
報告セグメント計	11,338	38,976	2,569	31,049	22,637	15,504	3,174	125,251
その他	2,127	2	—	6	—	—	—	2,136
合計	13,465	38,979	2,569	31,055	22,637	15,504	3,174	127,387
構成比(%)	10.6	30.6	2.0	24.4	17.7	12.2	2.5	100.0

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

セグメントの名称	日本	中国	タイ	他アジア	北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	10,619	48,263	24,164	52,632	17,569	11,622	3,864	168,737
マシンツール	3,869	1,183	114	269	3,972	270	24	9,705
報告セグメント計	14,489	49,447	24,279	52,902	21,542	11,893	3,889	178,442
その他	2,181	9	—	8	—	—	—	2,199
合計	16,671	49,456	24,279	52,910	21,542	11,893	3,889	180,642
構成比(%)	9.2	27.4	13.4	29.3	11.9	6.6	2.2	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。